

# 図書館だより



## 心ゆたかに生涯読書

「本を読むと若くなる」といわれます。それは読書が心の健康に役立つからです。軽いスポーツや散歩が、身体の健康を支えるように、本を読むことが頭の体操になるからです。本を読む習慣のなかった人も、なにか1冊、自分にふさわしい本を見つけて読んでみてください。図書館には、次のようなおすすめの本があります。

図書館へ来たことのない人もぜひおいでください。お待ちしております。

### お すす め の 本

#### 国家の品格 (藤原正彦著・新潮社)

いま日本に必要なのは論理より先情緒、英語より先国語、民主主義より先武士道精神であり、「国家の品格」を取り戻すことである。

#### 隠居学 (加藤秀俊著・講談社)

読んだら何ともいえないいい気分。あらゆる世界をめぐる好奇心。自由な隠居になる願望を持つ著者の知的探検!

#### 余韻を聞く (白洲正子著・世界文化社)

白洲正子が残した明日の日本人への切なる伝言を、未公開の手紙62通・随想181項25編で構成。

#### 人生、これからが本番 (日野原重明著・日本経済新聞社)

94歳なんかまだ通過点!高齢者への行き方指南は世代を超えて共感を呼ぶ。

#### 八十四歳。英語、イギリス、ひとり旅 (清川 妙著・小学館)

何かを始めるのに遅すぎることはない。人生をあきらめる心に渴!長寿社会をいきいき過ごす生き方&旅行術。

#### ハルカ・エイティ (姫野カオルコ著・文芸春秋)

第134回直木賞候補作。1920年生まれハルカ、戦前から戦中そして戦後を強く前向きに生き抜いていく。

他に次のような本もあります。

- 『天命』五木寛之著 東京書籍
- 『病気になるない生き方』新谷弘実著 サンマーク出版
- 『道三堀のさくら』山本一力著 角川書店
- 『家族のゆくえ』吉本隆明著 光文社
- 『安徳天皇漂流記』宇月原晴明著 中央公論社
- 『老楽力』外山滋比古著 展望社

### 絵本作家 講演会のお知らせ

#### 「ボートにのって ももんちゃんがやってきました」 とよたかずひこ氏

絵本・紙芝居・そしてお話

赤ちゃん・子ども・親と一緒にわいわいやりながらご講演します。

日時 平成18年10月28日(土) 午後1時30分～

場所 トキのむら元気館



### 8月の佐渡市立図書館の様子です



▲夜のトショカン(中央)



▲お話スペシャル(小木)



▲おはなし会(さわた)



▲読書する子どもたち

#### さわた図書館休館のお知らせ

さわた図書館のある佐渡中央会館が、アスベスト除去工事のため、次の期間休館します。  
期間 平成18年9月下旬 ~ 平成18年11月30日 まで

#### 図書館休館日

18日(月) 敬老の日・23日(土) 秋分の日・25日(月)





# 世界文化遺産登録に向けて

## 佐渡の金銀山遺跡

### (五) 西三川砂金山②

明治5(1872)年、真野地区の西三川砂金山はついに閉山の時を迎え、砂金山の村として栄えた笹川の集落も、次第に農業の村としてその姿を変えていきました。しかし西三川砂金山は、坑道を掘り進める相川や佐和田地区の鶴子(つるし)といった鉱山とは異なり、砂金を含む山の斜面を削り、大量の水で余分な土砂を流して砂金を採っていたため、水を引く水路跡や、水を貯める受堤跡などが



▶砂金採取用具。盥(左上)、鶴首(右上)、汰板(左下)、砂金秤(右下)。

現在でもその姿をとどめています。このほかにも笹川集落周辺には、高さ1m、一辺5、6m程の、

コノ字状に自然石を積み上げた石組の跡が多数存在します。平成14、16年にかけて実施した分布調査で、砂金含みの土石を崩した山裾の麓や、集落を流れる小河川の近くから49基の石組跡が発見されました。これらの石組の使用目的は明らかにになっていませんが、三方を積石で囲い、入口を設けていることから、屋根を覆って、作業小屋や休憩所などに用いられたと考えられます。笹川集落に残る記録類としては、「金子勘三郎家文書(かねこかんざぶろうけもんじょ)」があげられます。この史料は江戸時代、笹川十八枚村(きさきがわじゅうはちまいむら)の名主であった金子勘三郎家に伝わるもので、江戸時代初期の砂金採掘法や砂金山経営のあり方が記録され

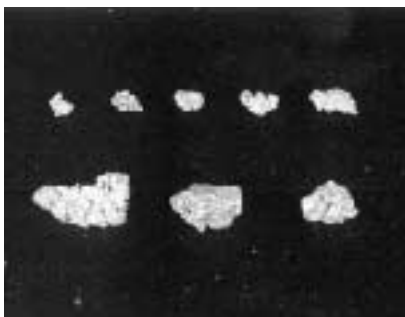
コノ字状に積み上げられた自然石を積み上げた石組の跡。



ています。平成2年に旧真野町(現在は佐渡市)の文化財に指定され、平成13年には本格的な調査が行われ、砂金山関連の史料目録が作成されました。

さらに、砂金含みの土砂を溜める「盥(たらい)」や、土砂を掘り起こす「鶴首」、砂と砂金を分離するための「汰板(ゆりいた)」や、砂金を計量する「砂金秤」といった砂金採取用具も現存しており、26点の資料が佐渡市の文化財に指定されています。

このように、笹川集落周辺には、水路跡、受堤跡、古文書、絵図、砂金用具など西三川砂金山の様子を知る上で大変貴重な資料が残っています。しかし一方で、これらを今後どう保存し、活用していくかが大きな課題であるといえます。平成に入り、笹川集落を走る県道の改良工事が計画され、画されたが、工事に伴って水路跡や鍛冶小屋跡が失われる恐れがあることから、旧真野町教育



▶西三川の砂金。大きなもので栗や桃大に及ぶという。

委員会は、平成13、14年にかけて記録保存のための発掘調査を実施しました。また、古文書や絵図類についても未調査のものも多く、今後も調査を実施していく予定です。現在佐渡市教育委員会では、佐渡金銀山遺跡の世界文化遺産登録にむけて、佐渡金銀山初期の鉱山町である上相川遺跡の発掘や、明治期以降の近代化遺産、芸能・石造物・町並などの鉱山文化、古文書や鉱山絵図といった記録史料などの調査を実施しています。その中でも笹川集落を中心とする西三川砂金山は、かつての繁栄の面影と現在の人々の暮らしが融合する、すばらしい文化的景観を有しています。今後は水路跡や受堤跡、作業小屋跡といった砂金採取に関連する諸施設の位置や範囲、古文書や絵図といった記録類などを詳しく調査し、世界遺産登録にむけた整備を進めていきたいと考えます。



▶水路跡の発掘調査の様子。中央のくぼみで水が流れる。

教育委員会文化振興課  
佐渡金銀山室 ☎ 27-4170

## 佐渡を活気のある島に

# 「第1回産業振興フォーラム」が開催されました

7月30日(日)午後2時から原宿の新潟館ネスパスで、第1回産業振興フォーラムが開催されました。佐渡出身経営者総勢86名の出席のもと、池田首都圏佐渡連合会会長から「佐渡出身の事業者同士の交流と共にふるさと佐渡の産業活性化に助言、提言ができれば…」と挨拶の後、フォーラムが始まりました。講演者2人の話の概要は下記のとおりです。

### 佐渡市親松助役 「佐渡の現状と首都圏佐渡人への期待」

観光客はピーク時から半減しました。観光客を含む人口減の影響は、コマ粗収入1年分の生産減額に相当します。佐渡は、観光による島づくりを目指す以外にないと思います。今年は佐渡汽船の待合室にツアー・デスクを開設したり「ふるさと再発見の旅」を行ったりして、まず首都圏の佐渡出身者が佐渡観光の宣伝マンになってもらいたいです。そしてリピーター率を現在の33%から50%にあげたいと思っています。

### (株)大庄 平 社長(両津出身) 「佐渡の産業について」

佐渡の産業活性化に対して、例えば事業特区をつくり何でも世界の島を目指すというアイデアがあります。世界一活魚の島、世界一芸術の島、世界一完全無農薬の島など、市民の創意工夫が要求されます。また各集落ごとにブランド品を作り、その品評会を行い競争したり、集落の一人ひとりが年間10人を佐渡へ客として呼ぶことができれば、後押しできます。新しい提案としてホッケの養殖は2億円産業になりますし、枝豆についても期待できます。さらに準島民・パーシャル住民を含む70万島民の夢のような佐渡株式会社構想もあります。



## こちらは消費者協会です

## 消費者協会相川支部ががんばってます!!

相川支部 小林 睦子

消費者協会相川支部が再結成して2年目、今年は会員38名に恵まれてスタートしました。

5月30日にはゴミゼロに参加、朝8時から2時間でゴミの山ができました。毎年老人クラブの人たちが精をだしてくれていますが、今年は市役所職員も協力して、美しく住みよい街づくりに意識改革されていく喜びを感じており、1人でも多くの方がタバコや空き缶のポイ捨てに気を配っていただければ幸いです。6月には赤泊の特別養護老人ホームを訪問し、清潔で家庭的環境の中、安心して過ごしている老人の様子を見て、高齢者問題にどう取組めるか等研修の機会を得られたことは大変有意義でした。

年3回「相川支部だより」を発行し、近況情報を会員に伝え意識改革に努めています。10月、市の日にマイバックキャンペーンを行ないます。佐渡市では平成16年、全戸にマイバックを配布しました。現在、1年間に1人あたり約100枚ものレジ袋が使用されていて、県民全員が1日1回レジ袋を断ると17.5トンのゴミが削減され、79万円の税金が節約できるそうです。市民一人ひとりが身近な生活の中で実践できますので、買い物にはぜひマイバックを持参してください。

11月、相川美術展に不用品即売会を開きます。各家庭で捨てるにはもったいないと保管している物等を寄付していただき、一般の方に安く販売し、売り上げ金を協会の活動費にさせていただきます。

12月、2月には食育と地産地消の推進として、無農薬のソバやコシヒカリを

使って「ソバ打ち」「花と太巻き寿司」に挑戦します。年越しソバ

やお祭り等の行事食に寿司は相川の食卓を飾るにふさわしい料理として、食文化に貢献できるものと期待しています。

1月には、賢い消費者になるために消費者に密着した講演会を開催します。

消費者を取り巻く環境は複雑で多様化している今日、我々ができる範囲で地域の活性化と住民に安全で安心な生活の向上に努めたいと日夜努力しております。

会員でない方も、我々の活動に関心を持っていただき、ぜひお知恵を拝借したいと思います。

